

四條畷市

橋梁長寿命化修繕計画

2023・03



四條畷市 都市整備部 建設整備課

目 次

1	長寿命化修繕計画の改訂について	1
2	四條畷市が管理する橋梁の現状	2
3	長寿命化修繕計画の基本方針	8
3.1	老朽化対策における基本方針	8
3.2	長寿命化修繕計画の基本方針	9
3.3	新技術等の活用と橋梁の集約化の検討方針	10
4	長寿命化修繕計画	11
5	長寿命化修繕計画の効果	12



1 長寿命化修繕計画の改訂について

1.1 これまでの取り組み

市では、将来的な財政負担の低減、平準化及び道路交通の安全性の確保を図るため、平成 24 年度に「四條畷市 橋梁の長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な修繕を進めるなど、予防的な維持管理に取り組んできました。

また、維持管理の基本となる橋梁の定期点検（5 年に 1 度の定期点検）を行っています。

1.2 改訂の背景

平成 26 年 3 月に道路法施行規則において、道路の維持・修繕に関する省令・告示が公布され、5 年に 1 回の定期点検の実施と近接目視による点検方法が規定されました。また、平成 26 年 6 月に「道路橋定期点検要領（国土交通省道路局）」が策定され、橋梁の健全度を把握するための方法（点検方法や健全度評価指標）が改めて示され、平成 31 年には道路橋定期点検要領が改訂されました。

また、国土交通省が令和 3 年 3 月に改正した「道路メンテナンス事業補助制度要綱」の事業要件を踏まえ、平成 24 年度に策定した長寿命化修繕計画を更新することとしました。

2 四條畷市が管理する橋梁の現状

(1) 管理橋梁

四條畷市が管理する橋梁は、令和5年3月現在、124橋です。その内訳は道路橋110橋、歩道橋15橋です。四條畷市では、道路橋と歩道橋について長寿命化修繕計画を作成します。

道路橋：車両の交通が可能な橋梁です。



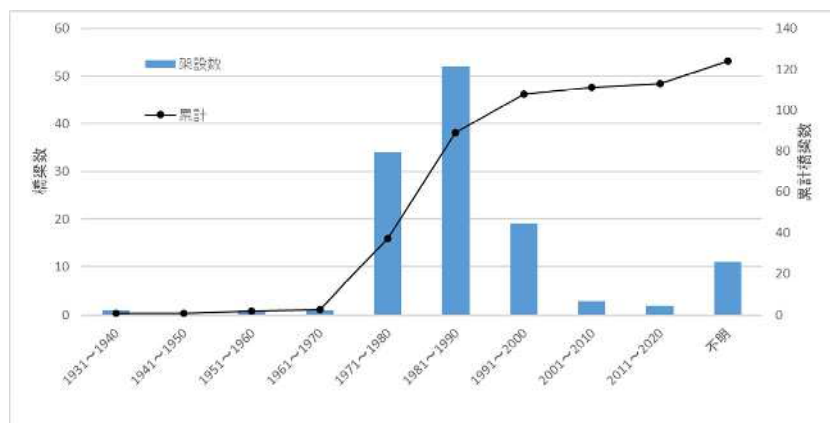
歩道橋：人の歩行に用いる橋梁です。



		橋梁数	管理延長 (m)	計画対象 橋梁数	備考
道路橋	15m 以上	8	230.50	8	
	15m 未満	101	598.80	101	
	小計	109	829.30	109	
歩道橋	15m 以上	2	30.80	2	
	15m 未満	13	84.24	13	
	小計	15	115.04	15	
計		124	984.24	124	

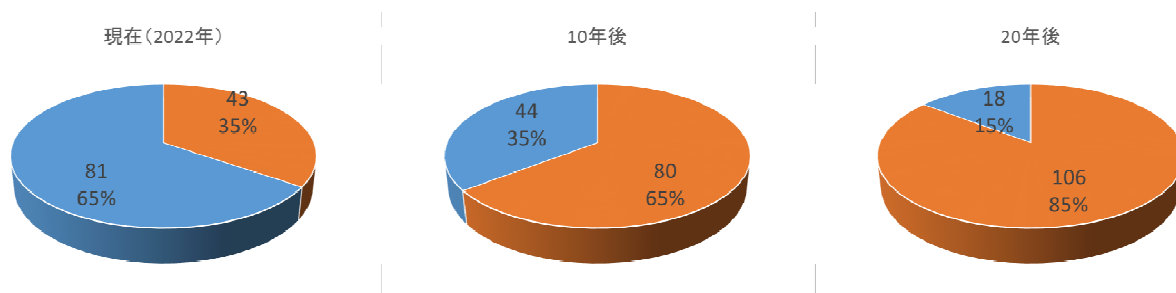
(2) 建設年別の橋梁数分布

四條畷市の橋梁は、高度経済成長期に一齐に架けられた橋梁が多くを占めます。



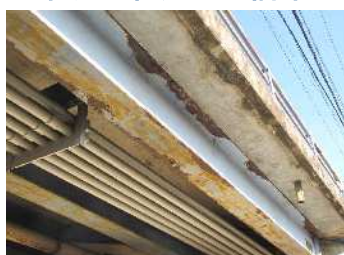
(3) 橋梁の年齢構成

建設後 50 年以上経過した橋梁に占める割合は、現在 35%であり、10 年後には半数以上の 65%、20 年後 85%と急激に増加します。

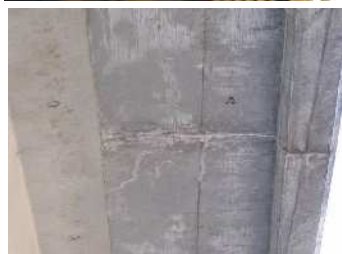


建設後 50 年以上経過した橋梁は、材料の経年劣化でこれから頻繁に修繕が必要となる可能性が高い橋梁として**高齢化橋梁**と呼びます。

● 30～50 年以上経過した橋梁の損傷



■ 鋼材腐食



■ 床版ひびわれ



■ ひびわれ



■ 鉄筋露出

今後はこれらの損傷が多く橋に見られるようになる可能性があります。

最新の点検結果による橋梁の健全度は次の通りです。

健全度	橋梁数
I	10
II	97
III	17

最新の点検結果による損傷状況について、橋梁種別毎に以下に示す。

1)PC 橋梁(橋梁数:30 橋)

	うき	その他	ひびわれ	ゆるみ・脱落	床版ひびわれ	洗掘	土砂詰まり	土砂詰り	剥離・鉄筋露出	腐食	変形・欠損	変色・劣化	舗装の異常	補修・補強材の損傷	防食機能の劣化	路面の凹凸	漏水・滞水	漏水・遊離石灰	総計
堅壁	10	11	23			3			9		5					4	7	2	74
主桁	7	7	12						17	2	3							4	52
防護柵	1	1		4						25	9			2					42
地覆	4		7						14		12						2		39
舗装		1					1			2	5		11		11				31
床版	2	5			1				6	1						1	11		27
伸縮装置		2					1				1	5			1				10
添架物										4									4
排水管										4									4
横桁			1							2									3
橋台[堅壁]		1	1													1			3
高欄		2									1								3
排水ます											2								2
排水樹							2												2
縁石											1								1
支承本体								1											1
側壁[その他]	1																		1
頂版		1																	1
標識		1																	1
落下防止柵		1																	1

- ・堅壁にひびわれの損傷が多く見られる。
- ・主桁、防護柵、地覆、舗装、地覆、床版の順に損傷が多い。

2)RC 橋梁(橋梁数:73 橋)

	うき	その他	ひびわれ	ゆるみ・脱落	洗掘	土砂詰まり	土砂詰り	破断	剥離・鉄筋露出	腐食	変形・欠損	変色・劣化	舗装の異常	補修・補強材の損傷	防食機能の劣化	路面の凹凸	漏水・滞水	漏水・遊離石灰	総計
堅壁	29	16	75		7				25		17					4	21		194
主桁	15	17	29						62	21	9					1	11		165
舗装		12	1			7				2	14		42		43				121
防護柵		3		4				1		79	25			2					114
地覆	12	5	24						14		25						13		93
頂版	3	4	23						3								2	2	37
側壁	2	1	22								2					1	3		31
伸縮装置		8									2	15			1				26
床版		1							2	13	2						2		20
縁石	2		1						4		6								13
横桁										10									10
橋台[その他]	1	2	5								2								10
支承						2						8							10
添架物										8									8
排水管										7									7
目地部	5																1		6
橋台[胸壁]		1									1					3			5
橋台[堅壁]		3	1															1	5
高欄											2			2					4
排水ます						3					1								4
橋台[翼壁]			2													1			3
断面方向連結部									1								2		3
底板		3																	3
橋脚[柱部・壁部]		2																	2
その他(カーブミラー)										1									1
胸壁			1																1
側壁[その他]											1								1
排水施設[その他]							1												1

- ・堅壁(ひびわれ)及び主桁(剥離・鉄筋露出)に損傷が多く見られる。
- ・舗装、防護柵、地覆の順に損傷が多い。

3)鋼橋(橋梁数:20 橋)

	うき	その他	ひびわれ	ゆるみ・脱落	支承の機能障害	床版ひびわれ	洗掘	土砂詰まり	剥離・鉄筋露出	剥離・鉄筋露出	腐食	変形・欠損	変色・劣化	舗装の異常	補修・補強材の損傷	防食機能の劣化	路面の凹凸	漏水・滞水	漏水・遊離石灰	総計
床版	3	6				14			2		8						6	49	2	90
主桁	1	6	2						7	1	20	2						2		41
縦壁	2	7	15				2		4								3	3	1	37
舗装	1	10									6	3		8		8				36
地覆	4	2	13						2		1	2						5	3	32
防護柵				1							16	9			3					29
高欄	1										9									10
伸縮装置		1						2			2		2				2			9
梁部		2	5																	7
胸壁	1		1						1										2	5
沓座モルタル	2		2									1								5
横桁											4									4
断面方向連結部			1						1		2									4
支承本体											2					1				3
照明施設		2										1								3
目地部																		3		3
下横構		2																		2
橋台[縦壁]									2											2
支承					1						1									2
排水管											2									2
落橋防止システム											2									2
アンカーボルト											1									1
その他(補強材)											1									1
橋台[その他]											1									1
添架物		1																		1
排水ます												1								1
標識											1									1

・床版の損傷(漏水・遊離石灰)が多い。

最新の点検結果による橋梁の健全度及び次回点検年度を以下に示します。

橋梁名	所在地	交差状況	使用用途	橋梁の種類	架設年(西暦)	橋長(m)	幅員(m)	最新点検年度	健全度	次回点検年度				
										R5	R6	R7	R8	R9
弁財天橋	田原台7丁目	北谷川	車道	橋	1989	19.80	14.20	R3	II				○	
仙女橋	田原台7丁目	天野川	車道	橋	1990	95.00	11.20	R3	II				○	
正法寺橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1976	8.80	8.30	R2	III			○		
本町橋	中野本町	清滝川分水路	車道	橋	1975	6.40	6.70	R2	II			○		
岡部川3号橋	中野本町	岡部川	車道	橋	1983	5.00	5.90	R2	II			○		
清滝川10号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1983	3.40	8.90	R2	II			○		
清滝川11号橋	中野3丁目	清滝川	車道	橋	1973	3.50	4.60	R2	II			○		
江蟬川4号橋	米崎町	江蟬川	車道	溝橋	2000	2.70	8.40	R2	II			○		
楠公橋	南野1丁目	権現川	車道	橋	1960	6.90	7.80	R2	II			○		
羽衣橋	大字下田原	天野川	車道	橋	1985	18.60	4.50	H31	II		○			
前川橋	大字下田原	戎川	車道	橋	1983	11.50	4.70	R3	II				○	
見町橋	蔀屋新町	岡部川	車道	橋	1983	8.70	3.10	R3	II				○	
新川2号橋	蔀屋新町	新川	車道	橋	1973	3.00	7.40	R2	II			○		
新川4号橋	蔀屋新町	新川	車道	溝橋	1973	2.10	16.00	R2	II			○		
新川5号橋	大字蔀屋	新川	車道	橋	1973	2.00	25.00	R2	II			○		
新川6号橋	大字中野	新川	車道	橋	1983	2.00	7.50	R2	II			○		
奈良井川1号橋	大字中野	奈良井川	車道	橋	1983	2.70	6.70	R2	II			○		
下戸川4号橋	大字中野	下戸川	車道	橋	1983	2.30	4.70	R2	II			○		
下戸川3号橋	大字中野	下戸川	車道	橋	1983	2.80	6.80	R2	II			○		
清滝川17号橋	中野3丁目	清滝川	車道	橋	1983	3.60	6.00	R2	II			○		
清滝川9号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1973	3.10	5.50	R2	II			○		
清滝川8号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1973	2.80	8.00	R2	III			○		
清滝川7号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1973	3.10	2.80	R2	II			○		
清滝川6号橋	中野本町	清滝川	車道	橋	1973	2.50	5.00	R2	II			○		
岡部川2号橋	中野本町	岡部川	車道	橋	1983	10.80	5.20	R2	I			○		
謨良川1号橋	岡山5丁目	謨良川	車道	橋	1992	15.60	2.40	R3	II				○	
謨良川2号橋	岡山5丁目	謨良川	車道	橋	1994	12.90	5.00	R3	II				○	
清滝川分水路1号橋	中野	清滝川分水路	車道	橋	1983	7.00	4.50	R3	I				○	
分水橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1985	8.30	5.00	R3	II				○	
清滝川13号橋	大字清滝	清滝川	車道	溝橋	1983	7.90	5.30	R2	II			○		
小倉橋	清滝中町	清滝川	車道	橋	1962	14.20	4.50	R3	II				○	
清滝川分水路2号橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1983	10.60	4.00	R3	III				○	
清滝川分水路3号橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1980	23.60	4.00	R3	II				○	
別宮川1号橋	大字清滝	別宮川	車道	橋	1983	3.80	4.20	R2	II			○		
岡部川4号橋	岡山1丁目	岡部川	車道	橋	1998	7.10	5.90	R2	I			○		
稲荷橋	中野本町	清滝川分水路	車道	橋	1975	6.90	4.00	R2	II			○		
上正法寺橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1983	8.20	2.00	R2	II			○		
別宮川3号橋	大字清滝	清滝川分水路	車道	橋	1983	6.30	4.80	R2	II			○		
清滝川12号橋	大字清滝	清滝川	車道	橋	1983	3.80	2.90	R2	III			○		
谷藪橋	清滝中町	清滝川	車道	橋	1997	5.50	8.80	R2	II			○		
謨良橋	岡山4丁目	謨良川	車道	橋	1999	9.50	4.60	R3	I				○	
清滝川4号橋	北出町	清滝川	車道	橋	1983	5.60	5.40	R2	II			○		
新川1号橋	蔀屋本町	新川	車道	橋	1973	5.60	5.50	R2	III			○		
新川橋	蔀屋本町	新川	車道	橋	1983	5.40	4.50	R2	II			○		
蔀屋1号橋	蔀屋本町	清滝川	車道	橋	1983	5.40	3.50	R2	III			○		
蔀屋2号橋	蔀屋本町	清滝川	車道	橋	1983	5.40	2.50	R2	III			○		
山口川1号橋	蔀屋本町	山口川	車道	橋	1973	2.30	3.90	R2	II			○		
蔀屋3号橋	蔀屋本町	清滝川	車道	橋	1983	5.40	4.50	R2	III			○		
山口川2号橋	蔀屋本町	山口川	車道	橋	1973	2.40	3.60	R2	II			○		
山口川5号橋	蔀屋本町	山口川	車道	橋	1997	2.70	7.10	R2	II			○		
山口川4号橋	蔀屋本町	山口川	車道	橋	1997	2.70	7.10	R2	II			○		
清滝川3号橋	二丁通町	清滝川	車道	橋	1983	5.60	8.70	R2	III			○		
あんぜん橋	二丁通町	山口川	車道	橋	1973	4.80	2.60	R2	II			○		
清滝川1号橋	二丁通町	清滝川	車道	橋	1983	3.30	4.70	R2	II			○		
江蟬川1号橋	雁屋西町	江蟬川	車道	橋	不明	5.00	2.50	R2	II			○		
江蟬川2号橋	雁屋北町	江蟬川	車道	橋	1973	4.00	5.80	R2	II			○		
江蟬川3号橋	雁屋北町	江蟬川	車道	橋	1983	3.80	8.10	R2	II			○		
大寺川1号橋	中野2丁目	大寺川	車道	橋	1973	2.90	8.00	R2	III			○		
権現川4号橋	南野3丁目	権現川	車道	橋	1973	5.40	5.40	R2	II			○		
江蟬川5号橋	塚脇町	江蟬川	車道	橋	1983	3.30	3.00	R2	II			○		
権現川2号橋	南野2丁目	権現川	車道	橋	1973	5.90	3.90	R2	II			○		
権現川6号橋	南野2丁目	権現川	車道	橋	1973	7.20	2.00	R2	II			○		
権現川3号橋	南野2丁目	権現川	車道	橋	1973	4.40	2.30	R2	III			○		

橋梁名	所在地	交差状況	使用用途	橋梁の 種類	架設年 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	最新点 検年度	健全度	次回点検年度				
										R5	R6	R7	R8	R9
江蟬川7号橋	南野5丁目	江蟬川	車道	溝橋	1973	3.10	4.80	R2	II			○		
権現川16号橋	南野4丁目	権現川	車道	橋	1983	5.40	4.10	R2	II			○		
山口川3号橋	蔀屋本町2	山口川	車道	橋	1993	2.40	7.50	R2	II			○		
山口川6号橋	蔀屋本町	山口川	車道	橋	1993	2.80	5.10	R2	II			○		
二丁通1号橋	二丁通町	他水路	車道	橋	2007	2.10	5.90	R3	II				○	
讃良川3号橋	大字岡山	讃良川	車道	橋	1983	4.00	4.00	R2	I			○		
清滝川15号橋	大字清滝	清滝川	車道	橋	2003	8.60	3.00	R2	II			○		
清滝川16号橋	大字清滝	清滝川	車道	橋	2003	7.80	3.00	R2	I			○		
中ヶ池橋	大字南野	中ヶ池	車道	橋	1973	4.20	4.50	R3	II				○	
権現川7号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	3.30	4.10	R2	III			○		
権現川8号橋	大字南野	権現川	車道	橋	2000	4.10	3.50	R2	II			○		
権現川9号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	4.90	2.90	R2	II			○		
権現川10号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	3.90	2.00	R2	II			○		
権現川11号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	3.90	2.00	R2	III			○		
権現川12号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	4.90	2.30	R2	II			○		
権現川13号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	5.60	2.00	R2	II			○		
権現川15号橋	大字南野	権現川	車道	橋	1973	6.40	2.10	R2	II			○		
高橋	大字下田原	天野川	車道	橋	1984	13.20	4.50	R3	II				○	
西川橋	大字下田原	戎川	車道	橋	1985	8.10	4.00	R3	II				○	
清水橋	大字下田原	天野川	車道	橋	1983	13.00	4.00	R3	I				○	
中央橋	大字上田原	天野川	車道	橋	1994	13.40	12.30	R3	II				○	
上田原1号線橋	大字上田原	天野川	車道	橋	1983	13.80	8.50	R4	II					○
北谷川2号橋	大字上田原	北谷川	車道	橋	1983	5.90	4.50	R2	II			○		
フケ水路1号橋	大字上田原	フケ水路	車道	橋	1983	2.70	5.50	R2	II			○		
讃良川4号橋	大字逢阪	讃良川	車道	橋	1973	2.60	10.90	R2	II			○		
大平橋	田原台8丁目	北谷川	車道	橋	1986	18.60	13.20	H31	II		○			
石尾谷水路1号橋	下田原	石尾谷水路	車道	橋	1988	5.00	6.00	R3	II				○	
戎川2号橋	田原台1丁目	戎川	車道	橋	1986	13.50	5.30	R4	II					○
石尾谷水路2号橋	大字下田原	石尾谷水路	車道	橋	1988	4.00	3.40	R2	II			○		
角堂橋	大字下田原	寒谷川	車道	橋	1986	11.30	5.00	R4	II					○
戎川1号橋	大字下田原	戎川	車道	橋	1986	9.90	5.00	R4	II					○
辰巳谷線1号橋	田原台3丁目	市道辰巳橋線	車道	橋	1999	20.00	4.00	R4	II					○
北谷川4号橋	田原台7丁目	北谷川	車道	橋	1987	14.00	5.30	R4	II					○
北谷川3号橋	田原台7丁目	北谷川	車道	橋	1987	19.30	5.30	H30	II	○				
大原橋	田原台7丁目	北谷からの水路	車道	橋	1987	10.20	5.30	R2	II			○		
北谷川6号橋	田原台9丁目	北谷川	車道	橋	1988	9.60	5.00	R4	II					○
14号水路1号橋	田原台9丁目	14号水路	車道	橋	1998	8.80	8.00	R4	II					○
14号水路2号橋	田原台9丁目	14号水路	車道	橋	1998	7.40	5.10	R4	II					○
堂尾川1号橋	大字下田原	堂尾川	車道	溝橋	1993	2.40	2.50	R2	II			○		
さつきヶ丘橋	大字上田原	北谷川	車道	橋	2000	10.30	11.20	R4	II					○
戎川3号橋	下田原	戎川	車道	橋	1993	6.00	2.50	R4	II					○
堂尾川2号橋	大字下田原	堂尾川	車道	溝橋	1993	3.00	4.60	R2	I			○		
高野橋	中野3丁目	清滝川分水路	車道	橋	1984	6.60	7.50	R4	II					○
新橋	岡山	讃良川	車道	橋	1933	7.60	5.00	R4	II					○
三坪橋	中野3丁目	清滝川	車道	橋	1973	2.80	10.10	R2	II			○		
清滝川18号橋	中野3丁目	清滝川	車道	橋	2019	6.10	9.20	R2	II			○		
清滝人道橋1	二丁通町	清滝川	車道	橋	0	3.90	1.57	R3	II				○	
岡部川1号橋	大字蔀屋	岡部川	歩道	橋	不明	9.10	2.30	R3	II				○	
新川3号橋	蔀屋新町	新川	歩道	橋	不明	3.80	2.00	R2	III			○		
清滝川5号橋	大字中野	清滝川	歩道	橋	不明	2.30	2.00	R2	II			○		
楠風橋	岡山東5丁目	-	歩道	橋	1976	15.00	2.50	H31	II		○			
清滝川14号橋	大字清滝	清滝川	歩道	橋	不明	8.60	1.90	R2	I			○		
本町小橋	中野本町	岡部川	歩道	橋	1986	10.10	2.50	R2	I			○		
清滝川2号橋	二丁通町	清滝川	歩道	橋	不明	3.80	1.70	R2	III			○		
江蟬川6号橋	塚脇町	江蟬川	歩道	橋	不明	2.50	1.20	R2	II			○		
権現川1号橋	南野1丁目	権現川	歩道	橋	不明	7.40	1.60	R2	III			○		
権現川5号橋	南野3丁目	権現川	歩道	橋	不明	4.40	1.20	R2	II			○		
砂溜橋	大字南野	砂溜橋	歩道	橋	不明	7.50	0.60	R2	II			○		
権現川14号橋	大字南野	権現川	歩道	橋	不明	5.40	0.50	R2	III			○		
田原台6・8号水路1号橋	田原台3丁目	市道辰巳橋線	歩道	橋	1987	15.80	2.00	H30	II	○				
北谷川5号橋	田原台9丁目	北谷川	歩道	橋	1989	11.50	2.50	R4	II					○
高野橋側道橋	中野3丁目	清滝川分水路	歩道	橋	2012	7.84	3.00	R4	II					○

3 長寿命化修繕計画の基本方針

3.1 老朽化対策における基本方針

計画的かつ予防的な維持管理を行っていくためには、橋梁の損傷状況を確認し、健全度を把握することが重要となります。

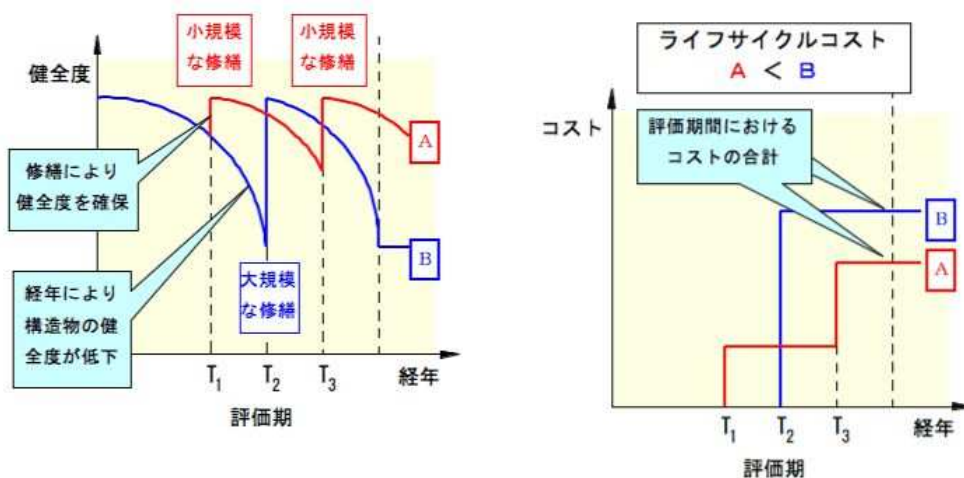
そのため、「道路橋定期点検要領(平成 31 年 2 月国土交通省道路局)」(以下、「定期点検要領」という。)に基づき、5 年に 1 回の頻度で定期点検を継続して実施し、橋梁の損傷状況を早期に把握します。また、定期点検の結果に基づく診断結果(健全度)を長寿命化修繕計画に反映させていきます。

予防保全とは

大切な資産である道路ストックを長く大事に保護し、安全で安心な道路サービスの提供やライフサイクルコストの縮減等を図るため、定期的な点検により、**早期に損傷を発見し、事故や架け替え、大規模な修繕に至る前に対策を実施**します。

※国土交通省資料より

予防保全とは異なり、修繕を行わずに使い続け寿命を迎えたときに大規模な修繕や架け替えを行うこと事後保全といいます。



出展：一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会

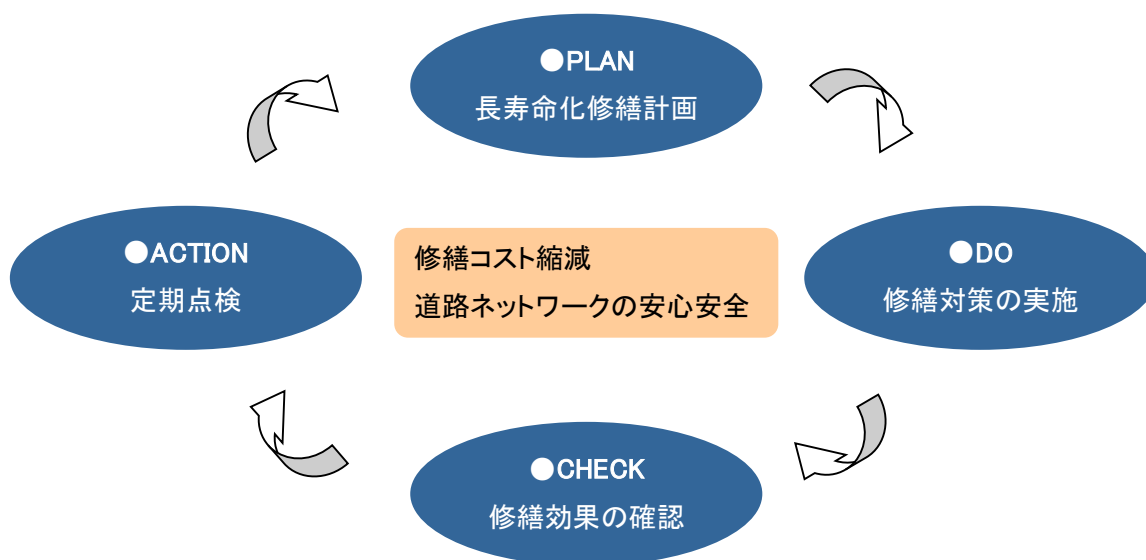
<https://www.pcken.or.jp/techinfo/newtech/lifestyle/cost/index.shtml>

3.2 長寿命化修繕計画の基本方針

四條畷市では、国土交通省から「橋梁の長寿命化修繕計画策定」施策を受けて、橋梁点検を実施し計画的に取り組んできています。

そのような背景の中で、四條畷市では、長寿命化修繕計画の基本方針として次のことを基本方針としています。

- 四條畷市が特定した道路橋 110 橋、歩道橋 14 橋について長寿命化修繕計画を策定し、予防保全型や観察保全型の橋梁管理へ転換することにより修繕コストの縮減を図ります。
- 長寿命化修繕計画を策定するため、5 年間隔を目処に橋梁定期点検を継続的に実施します。継続的に点検を行ない、重大な損傷を見逃さないように取り組みます。
- 長寿命化修繕計画は最新の点検結果に基づき更新し PDCA サイクルを継続的に維持するものとします。



3.3 新技術等の活用と橋梁の集約化の検討方針

1) 新技術等の活用方針

社会インフラの老朽化対策を効率的に進めていくため、近年、維持管理に係る技術開発が積極的に行われています。橋梁の維持管理においても、定期点検の効率化や高度化を図る点検支援技術や補修工事の省力化やコスト縮減を図るための補修工法など、新技術・新工法が開発されています。

持続可能な維持管理を実現するために、定期点検や補修工事の際に新技術等の活用について検討を行い、有効な技術を積極的に取り入れて、効率的・効果的な維持管理ならびにコスト縮減を図ります。

具体的には、定期点検においては、「点検支援技術性能カタログ(案)(国土交通省)」などを参考に点検作業の効率化につながる新技術等の活用を検討します。

補修工事においては、「新技術情報提供システム(NETIS)(国土交通省)」などを参考に各橋梁に適した有効な新技術等の活用を検討します。

2) 橋梁の集約化・撤去方針

四條畷市が管理する橋梁の老朽化が進んでいくため、今後老朽化対策に必要となる維持管理コストの増大が見込まれます。限られた予算の中で持続可能な維持管理を行っていくためには、維持管理コスト縮減の観点より2~3年の近い将来的に、橋梁の集約化や撤去の検討を進め、コストの縮減を目指します。

なお、橋梁の集約化・撤去を行う上では、橋梁を利用する地元住民の方々の理解と協力が必要であると共に、近隣市町村との協力も必要となります。そのため、地元との合意形成を図りながら丁寧に検討を進めていき、近隣市町村との協働で橋梁を維持管理できるような体制の検討を進めていきます。

集約化及び撤去の検討に当たっては、廃橋としても道路ネットワークへの影響が少ない、近隣住民の生活道路としての利用頻度、代替可能な橋梁が近くにあるか等を考慮します。

4 長寿命化修繕計画

●令和4年度策定 四條畷市長寿命化修繕計画

最新の点検結果による橋梁の健全度が「Ⅲ」の橋梁について、補修設計及び補修の実施時期の予定を下表に示します。

No.	橋梁名称	路線名称	構造区分	橋長	幅員	桁下高さ	交差	最新点検年度	健全度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
1	正法寺橋	薮屋清滝線	単純RC床版橋	8.80	8.30	6.84	清滝川分水路	R2	Ⅲ	設計		【補修】		
2	新川3号橋	薮屋新町6号線	単純鋼H桁橋	3.80	2.00	1.55	新川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
3	清滝川8号橋	中野本町5号線	RC橋	2.80	8.00	0.97	清滝川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
4	清滝川分水路2号橋	清滝12号線	PC橋	10.60	4.00	7.48	清滝川分水路	R3	Ⅲ		設計	【補修】		
5	清滝川12号橋	清滝24号線	RC橋	3.80	2.90	1.40	清滝川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
6	新川1号橋	薮屋本町1号線	PC橋	5.60	5.50	1.78	新川	R2	Ⅲ	設計		【補修】		
7	薮屋1号橋	薮屋本町8号線	RC橋	5.40	3.50	2.28	清滝川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
8	薮屋2号橋	薮屋本町13号線	鋼橋	5.40	2.50	2.30	清滝川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
9	薮屋3号橋	薮屋本町18号線	RC橋	5.40	4.50	2.21	清滝川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
10	清滝川3号橋	北出町4号線	石橋	5.60	8.70	2.36	清滝川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
11	清滝川2号橋	二丁通町3号線	単純鋼H桁橋	3.80	1.70	1.72	清滝川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
12	大寺川1号橋	中野2丁目7号線	RC橋	2.90	8.00	0.91	大寺川	R2	Ⅲ		設計	【補修】		
13	権現川1号橋	南野1丁目5号線	単純鋼H桁橋	7.40	1.60	2.05	権現川	R2	Ⅲ		設計	【補修】		
14	権現川3号橋	南野3丁目9号線	RC橋	4.40	2.30	2.31	権現川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
15	権現川7号橋	南野14号線	RC橋	3.30	4.10	1.80	権現川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
16	権現川11号橋	南野14号線	RC橋	3.90	2.00	1.48	権現川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	
17	権現川14号橋	南野22号線	鋼橋	5.40	0.50	1.50	権現川	R2	Ⅲ			設計	【補修】	

No.	橋梁名称	主な補修部材	主な損傷	主な補修工法	概算費用 (千円)
1	正法寺橋	主桁	鉄筋露出、ひびわれ	ひびわれ補修工、断面修復工	8,496
2	新川3号橋	主桁、支承部、その他	腐食	塗装塗替工、断面修復工	5,432
3	清滝川8号橋	主桁、横桁、床版	鉄筋露出	断面修復工	4,824
4	清滝川分水路2号橋	主桁	ひびわれ	ひびわれ補修工、断面修復工、橋面防水工	6,605
5	清滝川12号橋	床版	腐食・防食機能の劣化	塗装塗替工	6,605
6	新川1号橋	主桁	鉄筋露出	断面修復工	26,914
7	薮屋1号橋	主桁	鉄筋露出	断面修復工	3,716
8	薮屋2号橋	主桁	鉄筋露出	断面修復工	2,827
9	薮屋3号橋	主桁	鉄筋露出	断面修復工	6,758
10	清滝川3号橋	主桁、床版	鉄筋露出	断面修復工	7,651
11	清滝川2号橋	主桁	腐食	塗装塗替工	4,917
12	大寺川1号橋	主桁	鉄筋露出、うき	ひびわれ補修工、断面修復工、表面保護工	3,463
13	権現川1号橋	床版	腐食	塗装塗替工、断面修復工	7,101
14	権現川3号橋	横桁、床版、その他	腐食、防食機能の劣化	塗装塗替工	3,914
15	権現川7号橋	主桁、床版	腐食、防食機能の劣化、鉄筋露出	塗装塗替工	4,559
16	権現川11号橋	主桁	鉄筋露出、うき	断面修復工	3,622
17	権現川14号橋	床版	腐食	塗装塗替工	3,532

計 110,934

※ 補修設計費用を含む

なお、補修の実施については、橋長、第 3 者被害(交差状況が鉄道・道路)、架橋位置の路線を踏まえて、優先順位を設定します。

健全度が「Ⅰ」、「Ⅱ」の橋梁については、次年度以降に実施される橋梁点検の結果を考慮し、長寿命化修繕計画に基づいて、実施していきます。

5 長寿命化修繕計画の効果

予防保全による維持管理を行なう事により修繕コストが縮減し、四條畷市の限られた財源の中で、将来に渡り一定の道路サービス水準を維持します。

長寿命化修繕計画により、費用の縮減効果は、約 18 億円となります。

橋梁の寿命から求めたコスト縮減効果比較表 (百万円)

	最適 LCC 価格	再構築価格	コスト縮減効果
コスト	612	2,382	1,770

寿命換算で得られた費用縮減効果は約 18 億円

※上表は今後 10 年間に修繕が計画されている橋梁の効果です。